

## 町長室から

田上町長  
佐野恒雄

新しい年度になりました。

先日、テレビで桜の鉢植えが人気だと報道されていました。コロナ禍の中、「おうちで花見」ということだそうです。

思い起こせば、二年前のきずな四月号から「町長室より」を掲載させていた思い出があります。「田上の木、桜の花が咲き誇る季節になりました」という書き出しでした。

あれから二年。その間、交流会館、道の駅、地域学習センターがオープンしました。国道四〇三号小須戸田上バイパスの開通と相まって、町内外の多くの方々から各施設を利用いただいています。

◇交流会館の利用者（令和元年九月から令和三年二月末まで）  
約二万九千人 ※イベント、サークル等で利用された方。

◇道の駅の利用者（令和二年十月二十八日から令和三年二月末まで）  
直売所：約四万四千人、コンビニ：約八万四千人 ※レジを通った方。

◇地域学習センター（令和三年三月八日から三月一三日まで）  
百六十四人（七百九十九冊の貸出） ※本を貸出した方。

予想以上の利用人数です。賑わいが創出されています。新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、さらに利用される方が増えると思われます。

また、三月二十日には交流会館で令和二年度の成人式が行われました。県外から参加の新成人はPCR検査をして出席いただきました。新成人代表の知野陽明さんは「(コロナ禍の中でも)仲間と協力し合い、立派な社会人になれるように日々精進します」と力強い決意を述べていました。式典後、道の駅の広場でバルーンリリースが行われ、名残惜しく話し込んでいた新成人が多かったです。交流会館のロビーに設置された新成人によるメッセージコーナーに貼ってあった「いい町 田上」という一枚が目にとまりました。

昨年度は「田上町が大きく変わり、羽ばたく年」と位置づけました。令和三年度は、「田上町がさらに羽ばたく年」となるよう、町づくりを加速させてまいります。

都会では、花見が密になるので控えて欲しいと言われていますが、新潟では、人に迷惑がかからない桜花に親しむ場所が多くあります。

春の暖かい日差しの中、桜花に親しんだ方も多かったのではないのでしょうか。